

江南の水道

No.25
令和6年2月

発行：江南市水道部水道課 〒483-8018 江南市般若町中山146番地 TEL (0587)53-3511 FAX (0587)53-3514
ホームページアドレス <https://www.city.konan.lg.jp/kurashi/suido/1003554/index.html>

「水道料金の基本料金 全額免除」2か月間延長

物価高騰に伴う家計等への負担軽減を図るため、水道料金の基本料金の全額免除を、さらに2か月間延長しました。**(下水道使用料の免除はありません。)**



ホームページQR

●対象者

江南市水道事業より水道の供給を受ける全ての給水契約者(官公署を除く)

●対象期間(6か月間)

偶数月検針の地区

令和5年 8月検針(9月請求分)
10月検針(11月請求分)
12月検針(1月請求分)

奇数月検針の地区

令和5年 9月検針(10月請求分)
11月検針(12月請求分)
令和6年 1月検針(2月請求分)

基本料金(税込)

用途	メーター口径	1か月あたり	負担減少額(6か月分)
一般用 営業用 湯屋用	13ミリ	605円	3,630円
	20ミリ	770円	4,620円
	25ミリ	1,100円	6,600円
	40ミリ	2,200円	13,200円
	50ミリ	3,300円	19,800円
	75ミリ	5,500円	33,000円
	100ミリ	11,000円	66,000円
	150ミリ	33,000円	198,000円

●ご注意

使用水量が「0」の場合は、納入通知書は発行されません。

水道使用水量等のお知らせ		お客様番号 999-999999-99
江南市般若町中山146		使用月 令和5年11・12月分
水道 太郎様		使用期間 令和5年10月16日から 令和5年12月16日まで
		口径 13mm
		メーター番号 12345678
指針及び水量	今回請求予定金額	
今回指針 150 m ³	水道料金(うち消費税10%)	4,620円(420円)
前回指針 105 m ³	下水道使用料(うち消費税10%)	5,907円(537円)
旧メーター水量 0 m ³	概算合計金額	10,527円
水道使用水量 45 m ³	次回口座振替日 令和6年1月31日	
下水排出量 45 m ³	江南市水道事業 登録番号 T2800020000285	
《参考》前回水量 32 m ³	江南市下水道事業 登録番号 T7800020000603	
前々回水量 30 m ³		
前年同期水量 31 m ³		
このお知らせでのお支払いはできません。また、集金に伺うこともありません。		
《お問い合わせ先》		
江南市水道お客さまセンター		9999-1234-0001-01
〒483-8018 江南市般若町中山146 江南市水道課内		検針員：検針 花子
電話 0587-53-3511(直通)		検針日：令和5年12月16日
※通信欄		
物価高騰の影響を考慮し、12月検針分も水道基本料金を全額免除します(官公署を除く)。 ※下水道使用料の免除はありません。		

請求予定金額は、基本料金の全額免除後の金額です。
基本料金が全額免除される期間中は、通信欄でお知らせします。



水道料金の見直しに向けて検討をはじめました

江南市上下水道事業経営審議会では、江南市長より「江南市水道料金のあり方について」の諮問を受け、令和7年度以降の水道料金について審議を始めました。



ホームページQR

令和元年度に策定した「江南市水道事業経営戦略」では、5年ごとに水道料金の見直しを行うと定めており、現在の水道料金は令和2年度に改定されました。

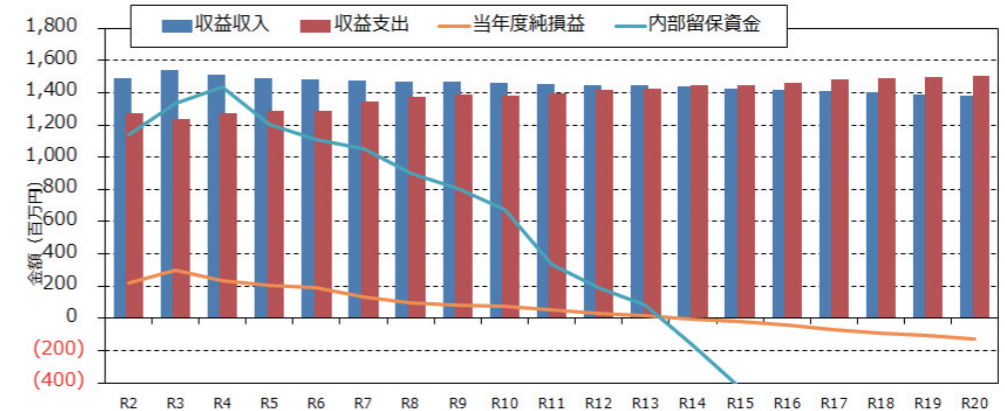
今後も人口の減少や節水機器の普及等により、料金収入が減少する予想となっています。

一方、基幹管路の耐震化、施設及び設備の更新等を計画的に進めていく必要があり、今後も多額の費用が必要となっています。



審議会では、江南市水道事業の経営を調査・分析し、十分な審議をまいります。なお、審議会は傍聴できます。開催日時は市ホームページで確認してください。

財政収支の見通し



凍結にご注意ください

冬の冷え込みが厳しいとき(目安として外気温がマイナス3℃以下)は、水道管や水道メーター内の水が凍ったり、水道管が破損することがあります。

対策をほどこし、水道管やじゃ口を寒さから守りましょう。水道管が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、破損することがあり、修理に高い費用がかかってしまうことになります。



○凍結を防ぐには

露出している水道管やじゃ口に布や毛布を巻き、その上にビニールテープを巻きつけ防寒します。(布が濡れますと、効果がなくなりますのでご注意ください。)また、じゃ口を少し開けて、水をチョロチョロと出しておくことで凍結しにくくなります。(出した水はバケツなどに溜めて、洗濯などにご利用ください。)

○凍結してしまったら

あわててじゃ口や水道管に熱湯をかけると、破損してしまうことがあります。気温の上昇を待つか、タオルなどをかぶせた上からぬるま湯を少しずつかけて解凍してください。

○水道管が破損してしまったら

まず、止水栓を閉めるか、破損しているところに布やテープを巻きつけるなどの応急処置してから市の指定給水装置工事業者にご連絡ください。市の指定給水装置工事業者は市ホームページでご覧になれます。

お問い合わせは、水道課(江南市水道お客さまセンター) ☎ (0587) 53-3511 まで

「お客さまアンケート」調査の結果

昨年10月28日にHome&nicoホール(江南市民文化会館)にて開催されました「2023江南市消費生活展」に出展し、「お客さまアンケート」を行いました。

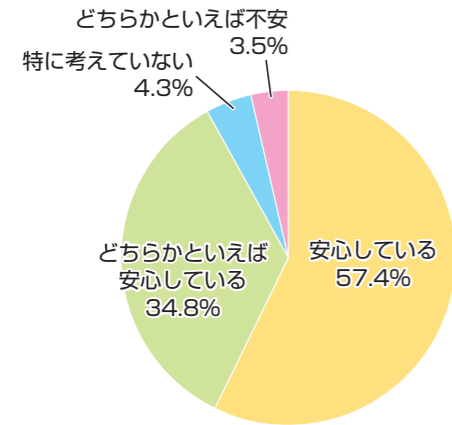
アンケートにご協力いただいた方には、「あいちの水(愛知県企業庁が製造した非売品)」と「発泡薬用入浴剤」などを配りました。



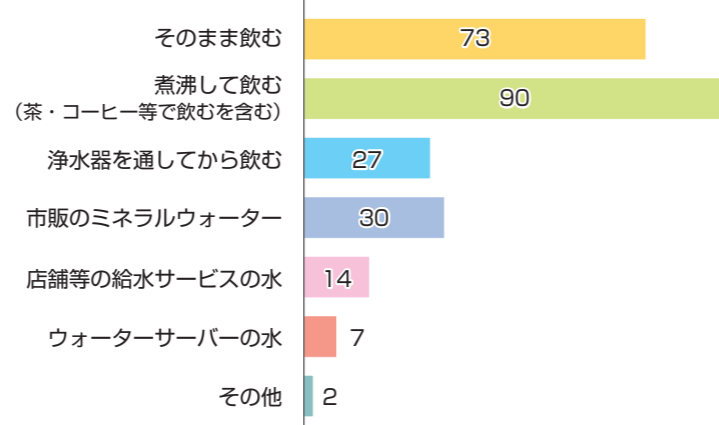
ホームページQR

182名の回答のうち、江南市水道事業が給水する区域にお住まいの方141名の回答結果を報告します。いただいたご意見は、今後の水道事業の運営に活用させていただきます。また、市ホームページでは、より詳細な内容を掲載しています。

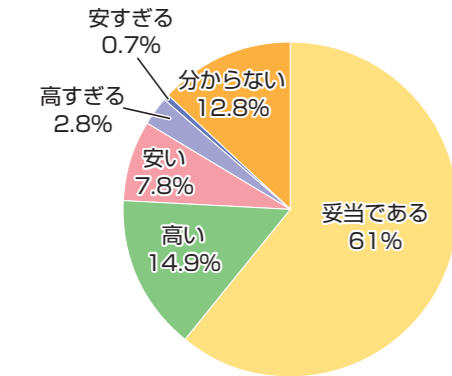
(1) 水道の水質について



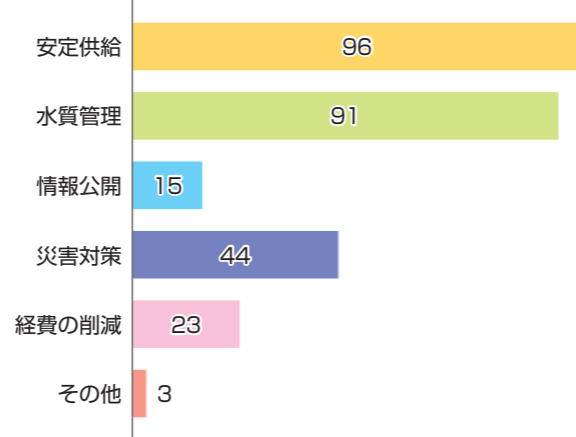
(2) 水の飲み方について(複数回答)



(3) 水道料金は高いと思いますか。安いと思いますか



(4) 今後、水道事業が力を入れていくべきことについて(複数回答)



水道水の硬度について

「硬度」とは、水に含まれる主なミネラル分であるカルシウム及びマグネシウムなどの量を、これに相当する炭酸カルシウムに換算して表したもので、硬度が高い水を「硬水」、低い水を「軟水」と呼びます。ヨーロッパの水は、地域により異なりますが、多くは硬度が高い「硬水」に分類され、一方、日本の水道水は、硬度が低い「軟水」に分類されます。硬水は、こくがあり癖があると言われ、軟水は、あっさりとして癖が無いと言われます。

日本の水道の水質基準は、硬度が300mg/L以下ですが、おいしさの面から、目標値は10~100mg/Lとなっています。江南市の水道水の硬度は、令和4年度の実績から、主に河川水を使用する下般若系の給水栓で25mg/L、地下水を水源とする後飛保系の給水栓での86.6mg/Lとなり、「軟水」に分類されます。

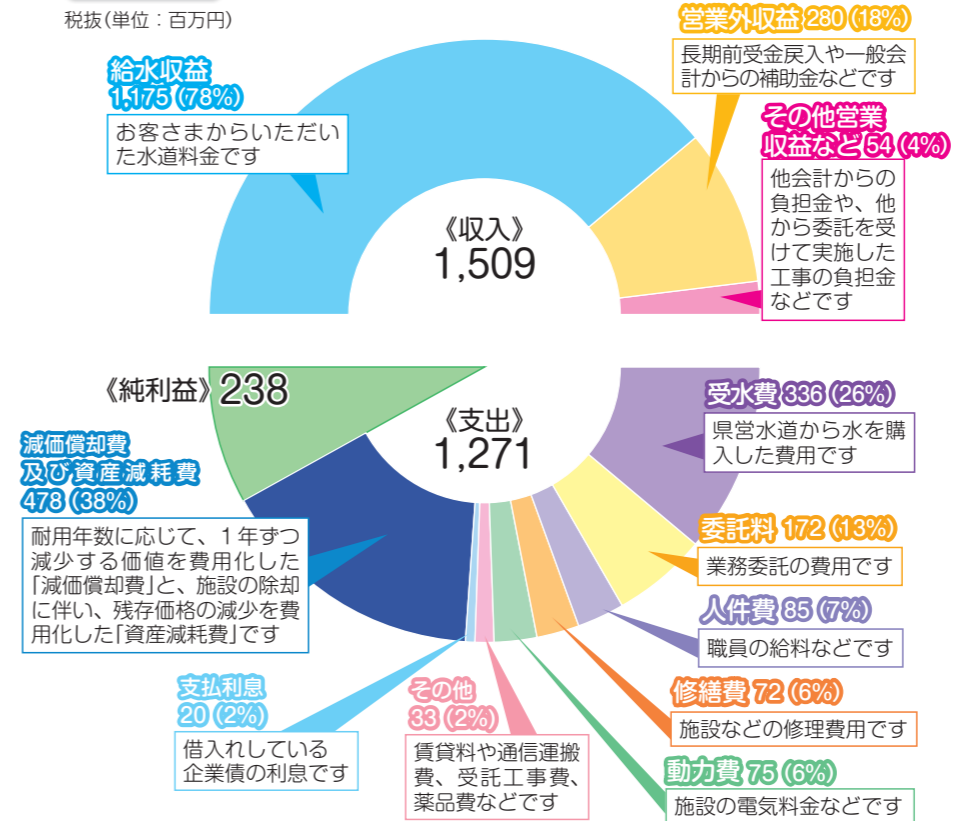


江南市水道事業 令和4年度 決算報告

水道事業は、みなさまからお支払いいただく水道料金を主な財源として経営しています。今後も経費削減など効率的な運営を行い、安心・安全な水をみなさまにお届けできるよう努力してまいります。

収益的収支 水をお届けするための経費と財源

税抜(単位: 百万円)



経営の状況

令和4年度は、みなさまに1日平均28.456mlの水をお届けしました。

収益的収支につきましては、給水量の減少により給水収益が減少したことや、電気代の高騰により動力費が増加したことにより当期純利益が238,011,329円となり、前年度より59,743,817円減少しました。

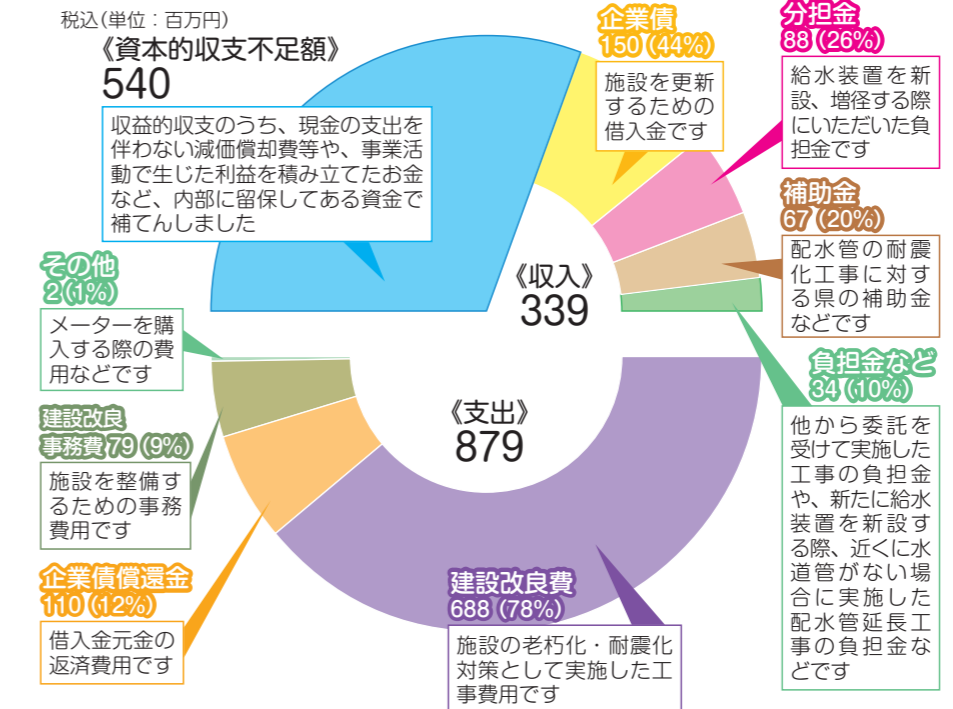
また、資本的収支につきましては、企業債及び分担金・補助金・負担金を財源とし、不足する額540,620,301円を内部留保資金等で補い、施設整備を進めてまいりました。

主な事業として、第1次基幹管路更新計画(平成26年度から令和13年度まで)に基づき、水道事業創設当初に布設した基幹管路(口径200ミリメートル以上の配水管及び水源から配水場までの導水管)を更新し、耐震化を進めています。

基幹管路工事を含めた配水管工事では総延長10,448メートルを布設又は布設替したほか、下般若第2号井・後飛保第4号井及び第8号井の水中ポンプ入替工事を実施しました。

資本的収支 水道施設を整備・拡充するための経費と財源

税込(単位: 百万円)



用語解説

■収益的収支と資本的収支

地方公営企業である水道事業の予算は、関係法令に基づき収益的収支と資本的収支に区分し、予算の内容を明確にしています。

収益的収支とは・・・

当該年度の経常的な営業活動に伴う損益に関する収入・支出であり、事業活動の計画としての損益予算です。

資本的収支とは・・・

主として将来の経営活動に備えて行う施設整備計画、企業債償還計画のための資金予算であり、収益的収支に属さない収入・支出が計上されます。

資本的収支の不足する財源については、営業活動で確保された現金支出を伴わない減価償却費などの、内部に留保された資金で補てんすることとなっています。